

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

『1.16』の地平を基点に新たな闘いの高揚をがらとれ

「1.16」の地平を基点に新たな闘いの高揚をがらとれ
この闘争は、まさに新たな闘いの高揚をがらとる。この闘争は、まさに新たな闘いの高揚をがらとる。
この闘争は、まさに新たな闘いの高揚をがらとる。

この闘争は、まさに新たな闘いの高揚をがらとる。
この闘争は、まさに新たな闘いの高揚をがらとる。
この闘争は、まさに新たな闘いの高揚をがらとる。

日刊 動労千葉

79.1.23

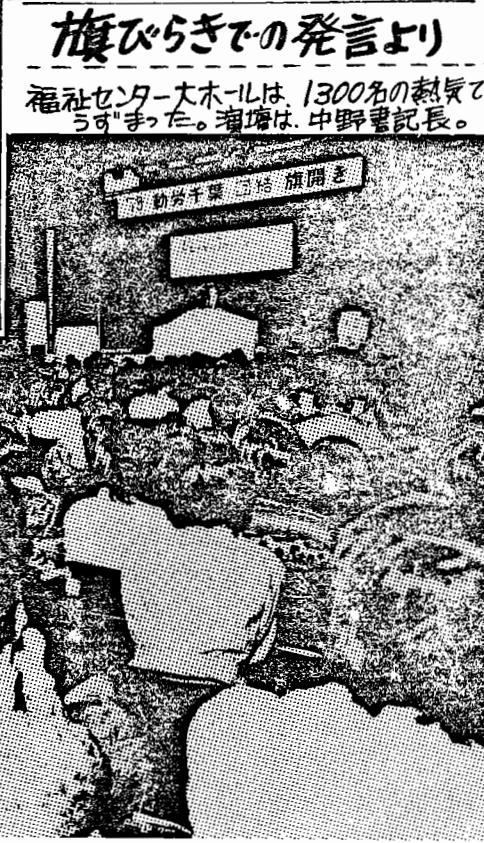
No. 14

国鉄動力車労働組合

千葉地方本部
(鉄電)二二五八九 (公衆)三三三二七二〇七

さらには、組織体制の確立を

立派な千葉地本に成長して、うれしい……。
勤労OB会会長・宍戸良一(じしりょういち)
「私が委員長をやっていた頃は、弱虫の千葉と冷やかされた。10年前に勤労を卒業した人間として、今日の旗開きはまさにおどろきだ。こうした立派な千葉地本になった事を心から祝福したい。OB会も誇りをもって高令者問題等、いろいろ斗っているが、若い現役の人たちも年寄りを腰かく包みこんで共に斗ってほしい。ガンバリましょ！」（要旨）



学習しよう！

そのための素材として「日刊動労千葉」は、「問題の核心は何か」ということについて、今後幾度かにわたりてシリーズ形式で全組合員に提起してゆきたいと思う。

やればやれは、今後、このかちとった地平にふまえ、次回支部代表者会議で確認された全組合員による地本・支部の防衛体制をさらに強固にし、日常的な闘い——労働条件を守り、命と生活を守る闘い、反戦の闘いなどなど——を万全に闘い抜くことである。

この間の千葉地本の闘いとその階級的正義性を再度全体で学習し、どうえ返し、あらゆる機会をとらえて主張し、全国の仲間に訴えてゆこう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！